



クラスタ セットアップ後のネットワーク構成

- [QoS ポリシーの作成, on page 1](#)
- [MAC アドレス プールの作成 \(3 ページ\)](#)
- [HX サーバ用の VLAN の作成 \(4 ページ\)](#)
- [プライベート VLAN について \(6 ページ\)](#)
- [vSwitch の設定 \(7 ページ\)](#)
- [既存の VM を使用しない VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定 \(8 ページ\)](#)
- [既存の VM を使用した VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定 \(8 ページ\)](#)
- [ESX ホスト上でのプライベート VLAN の設定 \(9 ページ\)](#)
- [vSphere 標準スイッチ上での VMNIC の削除 \(9 ページ\)](#)
- [vSphere 分散型スイッチの作成 \(9 ページ\)](#)
- [vSphere 分散型スイッチ上でのプライベート VLAN の作成 \(10 ページ\)](#)
- [分散型ポート グループ内のプライベート VLAN の設定 \(10 ページ\)](#)
- [仮想分散スイッチ \(VDS\) または Cisco Nexus 1000v \(N1Kv\) への vMotion ネットワークの移行 \(11 ページ\)](#)
- [Stats Daemon のリセット \(13 ページ\)](#)

QoS ポリシーの作成

Quality Of Service (QoS) ポリシーは、vNIC または vHBA に向けた発信トラフィックにシステムクラスを割り当てます。このシステムクラスにより、このトラフィックに対する Quality Of Service が決定されます。

vNIC ポリシー、または vHBA ポリシーに QoS ポリシーをインクルードし、その後、このポリシーをサービス プロファイルにインクルードして、vNIC または vHBA を設定する必要があります。

次の表に示されるシステム クラスを設定できます。

Table 1: システム クラス

システム クラス	説明
プラチナ ゴールド Silver ブロンズ	サービスプロファイルの QoS ポリシーに含めることができる設定可能なシステムクラスのセット。各システムクラスはトラフィック レーンを 1 つ管理します。 これらのシステム クラスのプロパティはすべて、カスタム 設定やポリシーを割り当てるために使用できます。
ベスト エフォート	ベーシック イーサネット トラフィックのために予約されたレーンに対する QoS を設定します。 このシステムクラスのプロパティの中にはあらかじめ設定されていて、変更できないものもあります。たとえば、このクラスには、必要に応じて、データパケットのドロップを許可するドロップポリシーがあります。このシステム クラスをディセーブルにはできません。
ファイバチャネル	Fibre Channel over Ethernet トラフィックのために予約されたレーンに対する Quality Of Service を設定します。 このシステムクラスのプロパティの中にはあらかじめ設定されていて、変更できないものもあります。たとえば、このクラスには、データパケットが絶対にドロップされないことを保証するドロップなしポリシーがあります。このシステム クラスをディセーブルにはできません。 Note FCoE トラフィックには、他のタイプのトラフィックで使用できない、予約された QoS システム クラスがあります。他のタイプのトラフィックに FCoE で使用される CoS 値がある場合、その値は 0 にリマークされます。

UCS Manager で QoS ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Web ブラウザを開き、Cisco UCS Manager の IP アドレスを入力します。ログイン クレデンシャルを入力します。
- ステップ 2 [ナビゲーション] ペインで、[LAN] をクリックします。
- ステップ 3 [LAN] タブで [LAN] > [Policies] を展開します。
- ステップ 4 [root] ノード > [Sub-org] > [hx-cluster] の順に展開します
- ステップ 5 [QoS Policy] を右クリックし、[Create QoS Policy] を選択します。
- ステップ 6 [QoS ポリシーの作成] ダイアログ ボックスで、次の表に示すように、システムクラスのフィールドに入力します。

QoS ポリシー名	QoS クラス	Burst Size	レート	ホスト コントロール
Platinum	Platinum	10240	ライン レート	none

Gold	ゴールド	10240	ライン レート	none
Silver	Silver	10240	ライン レート	none
Bronze	Bronze	10240	ライン レート	none
ベストエフォート	ベスト エ フォート	10240	ライン レート	none

ステップ7 [OK] をクリックします。

MAC アドレス プールの作成

すでに存在する可能性がある MAC アドレスの重複を避けるために、デフォルトの MAC アドレスのブロックを変更できます。各ブロックには、デフォルトで 100 個の MAC アドレスが含まれており、UCS システムごとに最大 100 の HX サーバを展開できます。トラブルシューティングを容易にするために、vNIC ごとに 1 つの MAC プールを使用することを推奨します。



(注) 8 桁目は A または B のいずれかに設定します。「A」は、ファブリック インターコネクト (FI) A にピン接続された vNIC で設定されます。「B」は、ファブリック インターコネクト B にピン接続された vNIC で設定されます。

- ステップ1 Web ブラウザを開き、Cisco UCS Manager の IP アドレスを入力します。ログインクレデンシャルを入力します。
- ステップ2 Cisco UCS Manager で、[LAN tab] > [Pools] > [root] > [Sub-org] > [hx-cluster] > [MAC Pools] に移動します。
- ステップ3 [MAC Pools] を右クリックし、[Create MAC Pool] を選択します。
- ステップ4 [MAC プールの作成] ウィザードの [名前と説明の定義] ページで、以下の表に示すように必須フィールドに入力します。

MAC プール名	説明	割り当て順序	MAC アドレス ブロック
hv-mgmt-a	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:01:01-64
hv-mgmt-b	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:02:01-64
storage-data-a	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:03:01-64
storage-data-b	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:04:01-64
vm-network-a	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:05:01-64
vm-network-b	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:06:01-64

hv-vmotion-a	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:07:01-64
hv-vmotion-b	HyperFlex システム用 MAC プール	Sequential	00:25:B5:XX:08:01-64

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Create MAC Pool] ウィザードの [Add MAC Addresses] ページで、[Add] をクリックします。

ステップ 7 [Create a Block of MAC Addresses] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[First MAC Address] フィールド	ブロック内の最初の MAC アドレス。
[Size] フィールド	ブロック内の MAC アドレス数。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ステップ 9 [完了 (Finish)] をクリックします。

MAC アドレスが変更されると、ソフトウェアは ESXi を以前の設定方法に再設定します。しかし、管理 IP には DHCP が割り当てられたため、IP が変わります。

MAC アドレス変更に対する製造プロセスの影響

- 特に顧客が UCS ファブリック インターコネクトがない HyperFlex サーバを発注する場合、製造プロセスと顧客サイトの間で MAC アドレスが変わります。
- MAC アドレスは、サービス プロファイルの関連付けの際に設定されます。サービス プロファイルの関連付けの解除の間は、設定されせん。
- 製造プロセスの最後で、サービス プロファイルの関連付けが解除されます。つまり、MAC アドレスが未設定になります。
- HyperFlex サーバを導入する場合は、MAC アドレス プールを上にあるように設定します。
- VMWare は Consistent Device Naming (CDN) をサポートしていますが、5.5.SR が公開されて以来、問題が報告されています。

HX サーバ用の VLAN の作成

ステップ 1 Web ブラウザを開き、Cisco UCS Manager の IP アドレスを入力します。ログイン クレデンシャルを入力します。

ステップ 2 [LAN] タブ > [LAN] > [LAN Cloud] > [VLANS] に移動します。

ステップ 3 次の表に示すように、右クリックして [Create VLANs] を選択します。

VLAN 名	説明	マルチキャスト ポリシー名	
hx-inband-mgmt	次で使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESX 管理 • ストレージコントローラ VM への SSH • HX クラスタ管理 IP : マルチキャストトラフィックを使用 • HX データ プラットフォームプラグイン用の HyperFlex VM への vCenter 接続 	HyperFlex	3091
hx-storage-data	次で使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESX NFS クライアント (IOvisor) • HyperFlex レプリケーション/クラスタ • クラスタ データ VIP 	HyperFlex	3092
hx-vmotion	次で使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • VM およびストレージ vMotion、FT、iSCSI 	HyperFlex	3093
insert existing vlan name	次で使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • VM データ トラフィック 	HyperFlex	任意*

(注)

- 設定オプションは [Common/Global] です。これは、両方のファブリックに適用され、いずれの状況でも同じ設定パラメータが使用されます。

- *VM データ VLAN に関する特別な推奨事項はありません。VM データ トラフィック用の独自の VLAN を作成できます。デフォルトでは、HXDP インストーラは VM データ トラフィック用の VLAN を作成しません。

プライベート VLAN について

プライベート VLAN では VLAN のレイヤ 2 ブロードキャスト ドメインがサブドメインに分割されるので、スイッチで相互にポートを分離できます。サブドメインは、1 つのプライマリ VLAN と 1 つまたは複数のセカンダリ VLAN で構成されます。プライベート VLAN ドメインには、プライマリ VLAN が 1 つのみ含まれています。プライベート VLAN ドメインの各ポートは、プライマリ VLAN のメンバーで、プライマリ VLAN は、プライベート VLAN ドメイン全体です。

プライベート VLAN ポートの概要

表 2: プライベート VLAN ポートのタイプ

VLAN ポート	説明
Promiscuous Primary VLAN	プライマリ VLAN に属しています。無差別ポートに関連付けられているセカンダリ VLAN に属しているインターフェイス、およびプライマリ VLAN に関連付けられているインターフェイスのすべてと通信できます。それらのインターフェイスには、コミュニティ ポートと独立ホストポートも含まれます。セカンダリ VLAN からのすべてのパケットは、この VLAN を経由します。
独立したセカンダリ VLAN	度クリスしたセカンダリ VLAN に属するホストポートです。このポートは同じプライベート VLAN ドメイン内のその他のポートから完全に分離されていますが、関連付けられている無差別ポートとは通信できます。
コミュニティ セカンダリ VLAN	コミュニティ セカンダリ VLAN に属するホストポートです。コミュニティ ポートは、同じコミュニティ VLAN にある他のポートおよびアソシエートされている無差別ポートと通信します。

HX の導入に従い、VM ネットワークはデフォルトで通常の VLAN を使用します。VM ネットワークにプライベート VLAN を使用する場合は、次のセクションを参照してください。

- 既存の VM を使用しない VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定 (8 ページ)。
- 既存の VM を使用した VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定 (8 ページ)。

vSwitch の設定

VMware ESX および ESXi ホストの両方で、GUI またはコマンドラインから vSwitch を設定できます。

CLI 設定は、複数の ESX サーバをインストールして、vSwitch 設定のスクリプトを構築する際に非常に便利です。

ESX のインストール後、次の手順で ESX ホストの vSwitch を設定します。

ステップ 1 各 ESX サーバのコマンドラインにログインします。

ステップ 2 リストされた名前を使用して、各 ESX サーバで 3 つの vSwitch を作成します。

- **vswitch-hx-storage-data**

スイッチで MTU を 9000 に設定します。

- **vmotion**

スイッチで MTU を 9000 に設定します。

- **vswitch-hx-vm-network**

ステップ 3 次の CLI コマンドを使用して、3 つの新しい vSwitch を作成します。

```
# esxcli network vswitch standard add -v vswitch-hx-storage-data
# esxcli network vswitch standard set -v vswitch-hx-storage-data -mtu= 9000
# esxcli network vswitch standard add -v vswitch-vmotion
# esxcli network vswitch standard set -v vswitch-vmotion -mtu=9000
# esxcli network vswitch standard add -v vswitch-hx-vm-network
```

ステップ 4 ESXi のインストール時に作成されるデフォルトの vSwitch **vSwitch0** は、Hx データ プラットフォーム ノードのセットアップ スクリプトが機能するように、「**vswitch-hx-inband-mgmt**」に名前を変更する必要があります。次のコマンドを使用してスイッチの名前を変更してから、**vmkernel** がコンフィギュレーション ファイルを再度読み取り、新しい名前を使用するように、ホストを再起動します。

```
# sed -i 's/vSwitch0/vswitch-hx-inband-mgmt/g' /etc/vmware/esx.conf
# reboot
```

ステップ 5 次のコマンドを使用して、ホストの再起動後に、vSwitch の作成と名前の変更が確認できます。

```
# esxcli network vswitch standard list
```

前述の 4 つの vSwitch がコマンド出力に表示されていることを確認します。switch-hx-inband-mgmt vSwitch だけがアップリンクおよびポート グループをリストアップします。HX Data Platform インストーラ スクリプトは、残りのネットワーク構成を実行します。

既存の VM を使用しない VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定

- ステップ 1 Cisco UCS Manager でプライベート VLAN を設定するには、『[Cisco UCS Manager Network Management Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 2 上流に位置するスイッチでプライベート VLAN を設定するには、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 3 ESX ホストでプライベート VLAN を設定するには、『[ESX ホスト上でのプライベート VLAN の設定 \(9 ページ\)](#)』を参照してください。
-

既存の VM を使用した VM ネットワーク上でのプライベート VLAN の設定

- ステップ 1 Cisco UCS Manager でプライベート VLAN を設定するには、『[Cisco UCS Manager Network Management Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 2 上流に位置するスイッチでプライベート VLAN を設定するには、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 3 ESX ホストでプライベート VLAN を設定するには、『[ESX ホスト上でのプライベート VLAN の設定 \(9 ページ\)](#)』を参照してください。
- ステップ 4 vSphere 標準スイッチから、新しく作成された vSphere 分散型スイッチに VM を移行します。
- vCenter 仮想マシンを右クリックして、[Migrate Virtual Machine Networking] をクリックします。
 - ドロップダウンリストから、[送信元ネットワーク (source network)] および [送信先ネットワーク (destination network)] を選択します。
 - [次へ (Next)] をクリックします。
 - 移行する [仮想マシン (Virtual Machines)] を選択します。
 - [Finish] をクリックします。
- ステップ 5 VM 上のネットワーク アダプタのネットワーク接続をプライベート VLAN に変更します。
- vCenter 仮想マシンを右クリックして、[設定の編集 (Edit Settings)] をクリックします。
 - [ハードウェア (Hardware)] タブから、変更するネットワーク アダプタを選択します。
 - [ネットワーク ラベル (Network Label)] ドロップダウンリストから、使用する [ネットワーク接続 (Network Connection)] を選択します。
 - [OK] をクリックします。
-

ESX ホスト上でのプライベート VLAN の設定

ESX ホストでプライベート VLAN を設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 VMware vSphere クライアントから vSphere 標準スイッチ上の VMNIC を削除します。
- ステップ2 前の手順で削除した VMNIC を使用して新しい vSphere 分散型スイッチを作成します。
- ステップ3 無差別（プロミスキャス）、独立、およびコミュニティ VLAN を作成します。

VSphere 標準スイッチ上での VMNIC の削除

- ステップ1 VMware vSphere クライアントにログオンします。
- ステップ2 [ホーム (Home)] > [ホストとクラスタ (Hosts and Clusters)] を選択します。
- ステップ3 削除する VMNIC がある ESX ホストを選択します。
- ステップ4 [設定 (Configuration)] タブを開きます。
- ステップ5 [Networking] をクリックします。
- ステップ6 VMNIC を削除するスイッチを選択します。
- ステップ7 [Manage the physical adapters connected to the selected switch] ボタンをクリックします。
- ステップ8 削除する **vmnic** を選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。
- ステップ9 [はい (Yes)] をクリックして、選択内容を確認します。
- ステップ10 [閉じる (Close)] をクリックします。

vSphere 分散型スイッチの作成

- ステップ1 VMware vSphere クライアントにログオンします。
- ステップ2 [Home] > [Networking] を選択します。
- ステップ3 クラスタを右クリックして、[Distributed Switch] > [New Distributed Switch] を選択します。
- ステップ4 [Name and Location] ダイアログボックスに、分散スイッチの名前を入力します。
- ステップ5 [Select Version] ダイアログボックスで、バージョンと構成の要件に対応する分散スイッチバージョンを選択します。
- ステップ6 [Next] をクリックします。
- ステップ7 [Edit Settings] ダイアログボックスで、次のように指定します。

- [Number of uplink ports]
- [Network I/O Control] を有効化します。
- [Create a default port group] をオンにします。
- [Port Group Name] ボックスに、デフォルト ポート グループの**名前**を入力します。

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Ready to Complete] ダイアログボックスで、設定した内容を確認します。

ステップ 10 [終了] をクリックします。

vSphere 分散型スイッチ上でのプライベート VLAN の作成

ステップ 1 VMware vSphere クライアントから、[インベントリ (Inventory)] > [ネットワークング (Networking)] を選択します。

ステップ 2 dvSwitch を右クリックします。

ステップ 3 [Edit Settings] をクリックします。

ステップ 4 [プライベート VLAN (Private VLAN)] タブを選択します。

ステップ 5 [プライマリ プライベート VLAN ID (Primary private VLAN ID)] タブで、**プライベート VLAN ID** を入力します。

ステップ 6 [セカンダリ プライベート VLAN ID (Secondary private VLAN ID)] タブで、**プライベート VLAN ID** を入力します。

ステップ 7 [タイプ (Type)] ドロップダウン リストから、VLAN のタイプを選択します。有効な値は次のとおりです。

- 隔離
- コミュニティ
- 無差別(デフォルト)

ステップ 8 [OK] をクリックします。

分散型ポート グループ内のプライベート VLAN の設定

始める前に

vSphere 分散スイッチでプライベート VLAN を作成します。

-
- ステップ 1 [dvSwitch] の下の [dvPortGroup] を右クリックして、[設定の編集 (Edit Settings)] をクリックします。
- ステップ 2 [ポリシー (Policies)] > [VLAN] をクリックします。
- ステップ 3 [VLAN タイプ (VLAN type)] ドロップダウン リストから [プライベート VLAN (Private VLAN)] を選択します。
- ステップ 4 [プライベート VLAN エントリ (Private VLAN Entry)] ドロップダウン リストから、プライベート VLAN のタイプを選択します。次のいずれかを指定できます。
- 隔離
 - コミュニティ
- (注) コミュニティ プライベート VLAN が推奨されています。
混合モード ポートはサポートされていません。
- ステップ 5 [OK] をクリックします。
-

仮想分散スイッチ (VDS) または Cisco Nexus 1000v (N1Kv) への vMotion ネットワークの移行



- (注)
- HX に依存しない以下の特定のネットワークでは、VMware DVS または Cisco Nexus 1000v を使用して HX Data Platform を設定できます。
vMotion ネットワーク
仮想マシン ネットワーク
 - 詳細については、[Cisco Nexus 1000v のドキュメント](#)を参照してください。
-

HX に依存しない vSwitch と関連するポート グループを DVS ネットワークまたは N1Kv ネットワークに移行するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 vCenter から、DVS スイッチおよびポート グループを作成します。
- a) [vCenter Inventory Lists] > [Datacenters] > [datacenter] > [Related Objects] > [Distributed Switches] の順に選択します。[Add Distributed Switch] アイコンをクリックします。
 - b) [New Distributed Switch] ウィザードを完了します。2つのアップリンクを使用して各 DVS スイッチを作成します。
- 例 : VM ネットワークと vmotion pg

- DVSwitch-VMNetwork : DVPortGroup-VMNetwork
- DVSwitch-Vmotion : DVPortGroup-Vmotion

ステップ 2 vSwitch、VMNetwork を移行します。VMNetwork を、従来の vSwitch から DVS に移行するには、次の手順を実行します。

- a) **[vCenter Inventory Lists] > [Datacenters] > [datacenter] > [Related Objects] > [Distributed Switches]** の順に選択します。
- b) **[DVSwitch-VMNetwork vSwitch]** を選択します。 **[Add and Manage Hosts]** アイコンをクリックします。 **[Add and Manage Hosts (ホストの追加と管理)]** ウィザードが起動します。
- c) **[Select task]** ページで、 **[Add Hosts]** を選択します。 **[Next]** をクリックします。
- d) **[Select hosts]** ページで、 **[Add New Hosts]** をクリックします。クラスタ内のすべてのホストを選択します。 **[Next]** をクリックします。
- e) **[Select network adapter tasks]** ページで、 **[Manage physical adapters]** と **[Migrate virtual machine networking]** を選択します。 **[Next]** をクリックします。
- f) **[Manage physical network adapters]** ページで、 **vswitch-hx-vm-network : VM ネットワークの一部である物理アダプタが DVSwitch-VMNetwork に割り当てられます。**
- g) **[On other switches/unclaimed list (他のスイッチ/要求解除リスト)]** で、 **スイッチで使用中の vswitch-hx-vm-network** に対応する **vmnic** を選択します。
- h) **[Assign (割り当て)]** アップリンクをクリックします。
- i) **[自動割り当て]** を選択します。
- j) **[OK]** をクリックします。ページが更新され、新しく割り当てられた **vmnic** が **[On this switch]** にリストされます。
- k) **[Analyze impact]** ページに、この移行による影響が表示されます。影響がすべてグリーンであることを確認します。 **[Next]** をクリックします。
- l) **[Migrate VM networking]** ページで、新しいネットワーク **DVPortGroup-VMNetwork** に移行する **VM** を選択します。

Next

すべてのホストから、コントローラ VM、stCtlVM を除くすべての VM を選択します。

[DVPortGroup-VMNetwork] を選択します。 **[Next]** をクリックします。

(注) 各ホストの VM のリストには、コントローラ VM を含むすべての VM が含まれています。コントローラ VM は選択しないでください。コントローラ VM を移行すると、ストレージクラスタが中断されます。

- m) **[Ready to complete]** ページで、移行の概要を確認します。 **[Finish]** をクリックします。

(注) 移行後のシステムによって、複数のネットワーク関連のアラームが生成されます。アラームを確認し、クリアします。

ステップ 3 vmotion pg に vSwitch を移行します。vmotion pg を、従来の vSwitch から DVS に移行するには、次の手順を実行します。

- a) **[vCenter Inventory Lists] > [Datacenters] > [datacenter] > [Related Objects] > [Distributed Switches]** の順に選択します。

- b) [DVSwitch-Vmotion vSwitch] を選択します。[Add and Manage Hosts] アイコンをクリックします。[Add and Manage Hosts (ホストの追加と管理)] ウィザードが起動します。
- c) [Select task] ページで、[Add Hosts] を選択します。[Next] をクリックします。
- d) [Select hosts] ページで、[Add New Hosts] をクリックします。クラスタ内のすべてのホストを選択します。[Next] をクリックします。
- e) [Select network adapter tasks] ページで、タスク [Manage physical adapters] と [Manage VMkernel adapters] を選択します。[Next] をクリックします。
- f) [Manage physical network adapters (物理ネットワーク アダプタの管理)] ページで、vmotion:vmotion pg の物理アダプタ部分が DVSwitch-Vmotion に割り当てられます。

[On other switches/unclaimed (他のスイッチ/要求解除)] リストで、スイッチで使用中の vmotion に対応する vmnic を選択します。[Assign uplink] をクリックし、[Auto-assign] を選択して [OK] をクリックします。ページが更新され、新しく割り当てられた vmnic が [On this switch] にリストされます。[Next] をクリックします。

- g) [Manage VMkernel network adapters (VMkernel ネットワーク アダプタの管理)] ページで、VMkernel アダプタをポート グループ DVPortGroup-Vmotion に移行します。

各ホストに対し、[On other switches (他のスイッチ)] で、スイッチで使用中の vmotion に対応する VMKernel アダプタを選択します。[Assign port group] をクリックします。宛先ポート グループ、DVPortGroup-Vmotion を選択します。[OK] をクリックします。ページが更新され、VMkernel ネットワーク アダプタが再度割り当てられ、送信元ポート グループと宛先ポート グループがリストされます。

- h) 新しいネットワーク、DVPortGroup-Vmotion に移行するホストを選択します。[Next] をクリックします。
- i) [Ready to complete] ページで、移行の概要を確認し、[Finish] をクリックします。

ステップ 4 移行後の手順 : IO、ネットワークの接続性、および VM の移行について、VM に影響がないことを確認します。

Stats Daemon のリセット

Description

ネットワーク デーモンは、UDP または TCP 経由で送信されるカウンタやタイマーなどの統計情報をリッスンし、1 つ以上の着脱可能なバックエンド サービスに集計を送信します。

手動で HX Data Platform サーバに ESX を再インストールした後、パフォーマンス統計情報が正しく表示されるように、stats daemon をリセットします。

アクション : stats daemon の再起動

ステップ 1 ESX ホストのコントローラ VM のコマンドラインにログインします。

ステップ 2 restart コマンドを実行します。

```
# /etc/init.d/statsd restart
```

ステップ3 ストレージクラスタのすべての ESX ホストのコントローラ VM で手順 1 および手順 2 を繰り返します。
